

あなたの熱意でひろげよう

同志獲得運動

なな はち

78だより

発行 者 地 人 地
とん 地 推
強 刀 推
見 沢 駐 員 会
岩 見 委 員 会
河 志 文 貴
進 委 文 貴
第 102 施 設 大 隊
第 1 係

若者を鍛える場に



岩見 文貴

私、日本人とアメリカ人を比べてみた場合に、すぐ違うのが「愛国心」で、日本人の方がアメリカ人より非常に少ないと思います。

日本人には、何かある時にバアツと固結する精神がない感じがする。お互いの足を引っ張り、悪口を言い合

い、批判をし合つて、一般的に固結し合うことがない。これは物すごく損なことと思つて、外国に行くと

日本の長所も短所も分りますね。自分さえよければ、自分が安泰ならそれでいい、みたいな感じられますね。

私、戦争は絶対に反対だし、一番の非難だと思つたよ。さんさん戦争反対といつてフォークソングを色々と歌つてきたけど、とつても悲しいのね、戦争をいかに絶対になくつていかないのね、なくなるものならもう何千年も前に終つていっらわよ。

だから日本に防衛のための武力があつたりするのは悪くないと思つた。もし、どこからか改めてこられた場合に市民を守つてくれたりする武力はあつていいと思

つた。それで、自衛隊のよさを所て若い人達にキチンとした生活をして、教育を受けたり、訓練をしたり、上下の指導、尊敬し合うのを覚えるということは何とつても大切だと思つた。そつて、そういう意味若い人達が男らしくキチンとした人間に育つて行くには一度入隊して見

たらい、わね。うちの弟なども入つたらしいなあと思つたりしたこともあるの。

あれから僕は人にすゝめられて自衛隊に入つた。そして三ヶ月、武山の教育隊で一通りの事を教わつた。僕は北海道の施設部隊を希望して今、岩見沢という所にいる。こゝでそれからの三ヶ月は出た出来事が目を覚めたものばかりだつた。スコップの使い方、鋸の使い方、見たこともない位の雪雪々々。そしてスキー、それ等始めのことはどれも皆最初は苦痛を感じたものだ。でも僕の若い人生経験で、岩見沢の自衛隊は色々色々と教えられる所はない。これ等のことは僕がこれから生きて行く上で最も貴重な経験として生かせる事ばかりだと思つてい



友への便り

A君、元気かい。君と別れてこの半年の間に僕は色々体験をした。

あれから僕は人にすゝめられて自衛隊に入つた。そして三ヶ月、武山の教育隊で一通りの事を教わつた。僕は北海道の施設部隊を希望して今、岩見沢という所にいる。こゝでそれからの三ヶ月は出た出来事が目を覚めたものばかりだつた。スコップの使い方、鋸の使い方、見たこともない位の雪雪々々。そしてスキー、それ等始めのことはどれも皆最初は苦痛を感じたものだ。でも僕の若い人生経験で、岩見沢の自衛隊は色々色々と教えられる所はない。これ等のことは僕がこれから生きて行く上で最も貴重な経験として生かせる事ばかりだと思つてい

君と一語に話していた頃、あの生活を通して僕が「団体生活」とはこんなものかと思つていたが、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

たら、もううつつなそんな考えは自衛隊の生活を通して初めて本当の集団生活を体験してフツ飛んでしまつた。本当はもつと楽しいものだが、まだにこんな生活をしてい

分の思い通りになるのがミカだと思つた。食費だの賠償などという不愉快な引き金もない。それにこの快適な集団生活の中で自分の力を試してみたいもの、ことだと思つた。何にもまして雪がいて、僕は訓練でニセコスキー場へ行つたり、スキー技術を習つたりするが、一円のものか、ならないこの果報！初めは細長い板を引いてのスキーなど南国育ちの僕になど出来るものかと思つていたが、やがて直滑行が出来、曲がる、止まるがどうやら自由に乗り出すと土曜日の午後と日曜日は終日スキーを引いて過す。それにこの岩見沢部隊は隊舎を出るとすぐスキー場、こんな部隊は北海道でも珍らしい。僕もあとになつて知つたがスキー教官のほとんどが南国のそれも九州育ちの人が多し。大分県の人達もかなりいるし、何かの時は相談にものつてくれるし心強いものだ。僕は、これから自分自身のため

に努力したいと思つてい

る。先ずブルドーザーの免許をとり、自動車の免許も取りたい。

税の五時から十時まで自由時間、その自由時間を有意義に生かしたい。

A君、この自衛隊の世界で、又と一語にやろうじやないか。きつと返事をくれたまえ、とり敢えず案内書、パンフレットを同封しておく。

只一人の親しき友へ

A君へ

一郎より

草々

草々

草々

草々

草々

草々

草々



同志獲得

情報は日頃の設定
出合いは説得の始まり
挫折は獲得へのステップ
望しき成果は充実への期待

我等の未来を求めて
君はさまよう

風は冷たく
日は更に盛りけれど
君のその努力と誠意のみが
明日の栄光を踏りかける

にこやかな笑顔は闘魂の表意
苦惱の時は飛躍へのふみ台

若い芽の蠢動する春が
もうそこにある
ホラ、君の目の前に
夢を当てよう。若い芽に

自衛官募集

詳しくは四九番にお問合せ下さい

募集秘話

ついで、先日のことである。同志獲得部員増をけむるある日、Y広報部は、いつも行きつけのパンコ店へ、開店早々の時刻を見計つて足を運んで来た。(今日は何の青年はいるだろうか、あのうるさし店主の目をどうやらそらそうか) 毎と考えながらジープを降りる足どりも、心をかざらなかつた。尤かオレに与えられた任務は一人でも多くの同志をいかに獲得するかである。

一日中駆け回り回つても後のころのは疲れと焦りだけである。家庭に帰ると子供達に、「お父さん、今日はどうだつたの？」と口癖のようにならぬか、これでも答はオウムの繰り返し、「ためだつたよ」

妻もあれこれと八方手をつくして情報をかき集めてはくれるが、一向に成果は結ばつかない、と彼は嘆く。広報の方法が間違つていふのかと思ふ作戦も変えてはみるが同の反応もない。方々を歩いて得た情報を神頼みにして勇んで行つて見れば、まだ十六才、かつかり、でも二年後のことを考へてはこれ努力、お世評の一つも言つて歸つて来る。無駄と思はれることでもそこに必ず成果の種がある。これが同志獲得作戦である。

そのフアイトを今日パンコ店の店員とお客に向けようとして

いたのである

目指す場所に来ると相変らず満員である。どうしてこうも暇のある人間が多いのであろう。対象者はこれ程いるのだから、この青年達の十分の一でも入隊してくれれば毎日数多くの広報員が、同志獲得のために、これ程走り回らなくてもよいのだから、と、心の中であらう言をいふ。

はじめの内は例によつて店内を歩き回つて、これに、と思う一人を見つけて、幸いその青年はよく玉を出している。例によつて以前からさも知つてゐるかのようになり、さし、川上君、よく出している

と結しかける。相手の青年はビツクリして、さういふパンコの手を止めて、「だれですか」と尋ねてくれればしめたもの、

「君は形勢の川上君でーよう」「オレは君見済の松下だ」と、いつた、さかす。「あ、さうか、日の出の松下さんか」「日の出合だよ」と言いをから、さかす手を動かしてはじめた。それだけ指は、おか方としては一応成功である。他日その家を探し出して訪問するのである。

パンコ店内を又も歩き回わるとしては、相手の店主がジロリ、ジロリと尻をむくので、やむなく二百円、玉を賣つて相手の青年のそばに行き、相手の行動を見ながら玉をばしき出した。五分位の間に玉が釣ひつかかつてしまつた。アランプをつけて店員を呼んだ

と、玉を落しながらかたしをして、玉がよよく出たので話しかけながら見てみると、案の定、後から肩をたたく人がいる。振り返つてみると、ウルサイ店主である。「君、ちよつと来てくれなさいか」と、さういふ一瞬戸惑つたが、いられるまゝにつれて行くと、小さな部屋に案内された。と、突然大きな声で、「君はウチの○○君に何を言つたのだ」「君は自衛隊か」と、やつと早やに質問を浴びせかけられた。

と、玉を落しながらかたしをして、玉がよよく出たので話しかけながら見てみると、案の定、後から肩をたたく人がいる。振り返つてみると、ウルサイ店主である。

「君、ちよつと来てくれなさいか」と、さういふ一瞬戸惑つたが、いられるまゝにつれて行くと、小さな部屋に案内された。と、突然大きな声で、「君はウチの○○君に何を言つたのだ」「君は自衛隊か」と、やつと早やに質問を浴びせかけられた。

彼は彼になつて、よくあんをい出まかせかいたものだと述懐していたが、相当な苦労をしたらしい。私は彼が話してくれた時、こんなことをしてなければ同志獲得が出来ないのか、と少しみじみ頭の下がる思いがした。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

彼は彼になつて、よくあんをい出まかせかいたものだと述懐していたが、相当な苦労をしたらしい。

私は彼が話してくれた時、こんなことをしてなければ同志獲得が出来ないのか、と少しみじみ頭の下がる思いがした。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「どこに勤めてゐるのか」「この問題を新聞に投書してやる」「ある政党に話してやる」「母と結婚を強よめて言ひ切り、彼は、どうこの権限を切り抜けるべきか、と懸命に苦慮した。何とか、即坐の機転で切り抜けた。何となく、サンザン油を絞られた。

「らくがき」

童子子

集りける

一輪の花

春待つ

はのあふ

この喜びを明日の君に

この世界を創り

この世界を育てる

青春の爆發は

限りなき青春への愛

誰かの青春に

この喜びの花を飾ろう

とほしき青春の

一ひらに輝く 君の光

その君の青春の一ひらは

明日の我々の榮誉

あふれる光 日本希蹤

(編集子)